



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL https://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	40,165	△47.9	△18,141	—	△18,498	—	△16,483	—
2020年3月期第3四半期	77,046	7.2	5,744	9.3	5,557	10.3	3,531	7.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △17,642百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 3,331百万円 (△12.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△185.30	—
2020年3月期第3四半期	37.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	150,889	40,694	26.8	456.32
2020年3月期	135,839	65,141	47.8	681.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 40,475百万円 2020年3月期 64,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	10.00	—		
2021年3月期（予想）				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

当社グループは日本国内及び米国において、総合アミューズメント事業を展開しておりますが、2020年4月以降新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の店舗において臨時休業や営業時間の短縮等の制限を受けております。2021年3月期の連結業績予想は、現時点で合理的に算出することが困難であるため、記載いたしていません。当該連結業績予想については、開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

また、現時点での将来の業績を予想するために、有用と思われる情報を、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	95,452,914株	2020年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,753,055株	2020年3月期	193,415株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	88,956,208株	2020年3月期3Q	95,260,956株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済活動の両立を図るべく、Go To トラベル事業等の追加経済対策が講じられ、経済の動き出しに期待が寄せられました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響により追加経済対策に制限がかかる等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

他方、世界経済においては、新型コロナウイルスのワクチン接種が一部の国にて開始された一方、新型コロナウイルスの変異種が報告されたことを受け、各国で入国制限措置や都市封鎖が行われる等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは日本において、「ボウリングカラオケ学生甲子園」や「リモチャレ」等の「ROUND 1 LIVE」を利用した企画を引き続き実施したほか、アミューズメントの最新機種を導入に加え、「EVANGELION」等とのコラボキャンペーンを行いました。

米国においては、営業基盤を拡大すべく、新たにデプトフォード店(ニュージャージー州)を出店いたしました。なお、43店舗中21店舗は営業しておりますが、22店舗は臨時休業としております。

また、新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える長期的な影響を勘案し、今後の海外事業展開に伴う設備資金や安定的な財務基盤を構築するため、当第3四半期連結累計期間において、金融機関より長期借入金による資金調達及びコミットメントライン契約を締結いたしました。これにより、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に対応できる体制を整えております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高40,165百万円(前年同四半期比47.9%減)、営業損失18,141百万円(前年同四半期は営業利益5,744百万円)、経常損失18,498百万円(前年同四半期は経常利益5,557百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失16,483百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3,531百万円)となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

離れた店舗同士をオンラインでつないで参加する「ボウリングカラオケ学生甲子園」や「リモチャレ」等の「ROUND 1 LIVE」を利用した企画を引き続き実施いたしました。また、アミューズメントの最新機種「武装神姫 アーマードプリンセス バトルコンダクター」を導入したほか、「EVANGELION」等とのコラボキャンペーンを行いました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比45.5%減、アミューズメントは前年同33.4%減、カラオケは前年同54.0%減、スポッチャは前年同58.2%減となりました。

(米国)

営業基盤を拡大すべく、新たにデプトフォード店(ニュージャージー州)を出店いたしました。なお、43店舗中21店舗は、各州政府・郡からの規制により営業時間の短縮等の制限を受けながらも営業しておりますが、22店舗は臨時休業としております。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比77.7%減、アミューズメントは前年同68.6%減、カラオケは前年同83.7%減となりました。

(その他)

その他の事業セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

なお、ロシア連邦において、ユーロペイスキー店(モスクワ市)を出店いたしました。ユーロペイスキー店は、連結子会社であるロシア連邦現地法人Round One Rus LLCによる出店です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15,050百万円増加の150,889百万円となりました。この要因は、現金及び預金が12,061百万円増加、未収消費税等が901百万円増加したこと等による流動資産の増加12,858百万円と、繰延税金資産が4,028百万円増加、建物及び構築物(純額)が2,983百万円減少、リース資産(純額)が2,227百万円減少、建設仮勘定が2,038百万円増加、使用権資産(純額)が1,834百万円増加したこと等による固定資産の増加2,192百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ39,497百万円増加の110,195百万円となりました。この要因は、未払法人税等が959百万円減少、未払消費税等が898百万円減少、短期借入金が861百万円減少、設備未払金808百万円減少、1年以内返済予定の長期借入金が795百万円増加したこと等による流動負債の減少3,120百万円と、長期借入金が43,278百万円増加、社債が1,192百万円減少、長期未払金が491百万円増加したこと等による固定負債の増加42,618百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ24,446百万円減少の40,694百万円となりました。この要因は、自己株式が5,001百万円増加、為替換算調整勘定が1,158百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純損失16,483百万円の計上等により利益剰余金が18,323百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は26.8%（前連結会計年度末は47.8%）となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、国内外の店舗において、臨時休業の要請や営業時間の短縮、海外出店活動の遅延等の影響を受け、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。現段階においても、その影響額について合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の連結業績予想については、記載いたしておりません。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,515	46,576
売掛金	971	655
商品	414	409
貯蔵品	2,194	2,651
その他	4,134	4,794
流動資産合計	42,230	55,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,289	81,298
減価償却累計額	△40,780	△42,773
建物及び構築物（純額）	41,508	38,525
土地	5,736	5,736
リース資産	29,711	30,708
減価償却累計額	△11,874	△15,098
リース資産（純額）	17,837	15,609
その他	36,332	42,039
減価償却累計額	△21,059	△23,215
その他（純額）	15,273	18,823
有形固定資産合計	80,355	78,695
無形固定資産		
投資その他の資産	737	688
繰延税金資産	3,368	7,396
差入保証金	8,802	8,746
その他	343	273
投資その他の資産合計	12,515	16,417
固定資産合計	93,608	95,801
資産合計	135,839	150,889

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204	213
短期借入金	1,561	700
1年内償還予定の社債	1,167	1,192
1年内返済予定の長期借入金	6,398	7,193
リース債務	8,533	7,893
未払法人税等	997	38
その他	9,114	7,624
流動負債合計	27,977	24,856
固定負債		
社債	2,507	1,314
長期借入金	15,776	59,055
リース債務	9,697	9,849
資産除去債務	6,105	6,003
その他	8,633	9,115
固定負債合計	42,720	85,338
負債合計	70,697	110,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	17,657	△665
自己株式	△340	△5,341
株主資本合計	64,976	41,652
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	119	△1,038
その他の包括利益累計額合計	△18	△1,177
新株予約権	183	219
非支配株主持分	0	0
純資産合計	65,141	40,694
負債純資産合計	135,839	150,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	77,046	40,165
売上原価	68,758	56,071
売上総利益又は売上総損失(△)	8,287	△15,905
販売費及び一般管理費	2,543	2,236
営業利益又は営業損失(△)	5,744	△18,141
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	11
補助金収入	11	462
その他	201	230
営業外収益合計	222	705
営業外費用		
支払利息	359	507
持分法による投資損失	7	39
資金調達費用	—	478
その他	42	36
営業外費用合計	409	1,062
経常利益又は経常損失(△)	5,557	△18,498
特別損失		
固定資産除却損	325	23
減損損失	—	1,885
特別損失合計	325	1,909
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,232	△20,408
法人税、住民税及び事業税	707	163
法人税等調整額	993	△4,087
法人税等合計	1,700	△3,924
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,531	△16,483
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,531	△16,483

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,531	△16,483
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△199	△1,158
その他の包括利益合計	△199	△1,158
四半期包括利益	3,331	△17,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,331	△17,642
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月31日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間に自己株式6,558,200株の取得を行いました。この結果、自己株式が4,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が5,341百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における子会社の異動)

連結の範囲の変更

第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であるRound One Entertainment Inc.が、米国においてRound One Maryland, LLC及びRound One Kansas, LLCを設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,058	14,987	77,046	—	77,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	62,058	14,987	77,046	—	77,046
セグメント利益又は損失(△)	5,316	326	5,643	△85	5,557

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,160	4,000	40,160	5	40,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	36,160	4,000	40,160	5	40,165
セグメント損失(△)	△11,252	△6,805	△18,057	△440	△18,498

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,885百万円であります。